

医療法人社団 桐光会 調布病院
病院情報システム 提案依頼仕様書

<はじめに>

提案依頼仕様書は、当院が病院情報システム（H I S）を構築するにあたり、ソフトウェアおよびハードウェアに係わる最低限の条件を示すものである。

<システム化要件>

今回の提案範囲は以下のとおりとする。また、既設部門システムとL A Nネットワークにて連携し、トータルシステムとして機能する事を前提とする。また、H I S側接続費用を含むことを前提とする。

また、今回のシステム導入にあたり、東京都I C T基盤整備事業の補助金の対象となるシステムであることを必須要件とする。

1. ソフトウェア

電子カルテシステム

入院外来フルオーダーリングシステム

医事会計システム(DPC対応含む)

※D P Cコーディング補助機能がある場合には、自社システム提案を可能とする

看護支援システム（三点認証含む）

看護勤務表作成、日誌作成、様式9出力システム

看護必要度システム

看護計画システム

褥瘡管理システム

インスリン・スライディングスケールシステム

手術管理システム（手術依頼、手術室予約管理、実施入力、オペレコ作成、術中看護）

薬剤情報印字、処方・注射監査、薬剤マスタ配信（年12回）

服薬指導システム（服薬指導オーダー、患者毎服薬指導歴管理、薬歴管理、医事算定連携含む）

持参薬鑑別システム

D I（薬剤情報）検索、表示

簡易RIS

レポートシステム

MWMサーバ

接続対象機器：6台（一般撮影、C T、M R I、骨塩定量、透視、マンモグラフィー）

栄養指導管理システム（栄養指導オーダー、指導予約枠管理、指導料医事算定連携含む）

N S Tシステム

栄養管理計画システム

紹介医療機関管理（紹介状管理）システム
同意書等ファイリングシステム（タイムスタンプ、バーコードによる仕分け機能付）
感染管理システム
分娩管理システム
インシデントレポートシステム
輸血管理システム（製剤管理、LotNoでの三点認証）
リハビリシステム
透析管理システム（透析機器接続費用含む）
健診システム※特定保健指導含む

2. 既設・新設（病院調達）部門システムとの連動

放射線画像管理システム（PACS）＜PSP＞
調剤システム[処方・注射]＜トーショー＞
脳波システム＜日本光電＞
検体検査システム＜BML＞
外注細菌検査接続＜BML＞
栄養管理システム＜タス＞
再来機受付機＜アルメックス＞
診察案内表示＜アルメックス＞
会計案内表示＜アルメックス＞
分娩監視装置＜トーイツ＞
POSレジシステム＜東芝テック＞※自社提案でも可能

3. データ移行範囲

既存システムから下記のデータの移行をするための入れ込み費用を見積もること。
移行方法については各ベンダ提案することとし、移行元データは病院から提供する。
患者基本情報、保険情報、病名情報、入退院歴情報、最終来院日情報、算定歴情報、
未収金情報、検体検査結果情報、カルテ情報、処方オーダー情報、注射オーダー情報

4. ハードウェア

（サーバ構成等の考え方について）

ハードウェア障害に備えデータベースサーバは二重化し、更にテープデバイス等にバックアップすること。また、災害等で主たるサーバが使用できない状況でも、別途設置の緊急用参照サーバで過去の診療記録を参照できること。

保守については5年間24時間365日4時間オンサイト保守費用を含むこと。

サーバ室のスペース効率や障害発生を少なくする為、極力システム間のインターフェースを少なくした最小構成での提案をすること。

(クライアント・プリンタ構成等の考え方について)

各ベンダは上記導入システム範囲、及び当院要求仕様を満たすアプリケーションソフトを提案するという観点より、提案アプリケーションソフトの動作条件を満たすスペックのクライアント、及びプリンタ等をそれぞれ下記台数で提案・見積ること。

クライアントに関しては、ATOK医用辞書、アンチウィルスソフト、Office製品等を含むこと。

各ライセンスのインストール対象端末数はデスクトップPC×60台、ノートPC×9台、
※上記の内、デスクトップPC3台、ノートPC3台は当院PCの再利用を想定している。
その他ライセンスが必要な場合は上記に追加して計上すること。

項	品名	台数
1	電子カルテ・オーダーリング・医事会計サーバ、 緊急用参照サーバ	推奨最少構成
2	クライアントPC（デスクトップ）3年保守 Win10Pro 2.5Ghz/500GB 20inchワイド相当スペック以上	58
4	クライアントPC（ノート）3年保守 Win10Pro 2.5Ghz/300GB 15inchワイド相当スペック以上	15
5	モノクロレーザープリンタ（A4・LANタイプ）	20
6	モノクロレーザープリンタ（A3・LANタイプ）	1
7	リストバンドプリンタ	2
8	検査ラベルプリンタ	5
9	注射ラベルプリンタ	5
10	A4フィードタイプスキャナ ※バーコード読み込みによる同意書等ファイリングシステムとの連携可能な機種	3
11	バーコードスキャナー	20
12	病棟向けモバイル端末（iOS、Android）	6
13	病棟用ナーシングカート	12

5. 保守に関する考え方

ソフトウェア保守については、電子カルテシステムというシステムの重要性や特殊性から、リモートメンテナンスによる迅速なサポートを必須とする。

また、24時間365日のコールセンターによる1次受付を実施すること。

ハードウェアに関しても、サーバ等の重要機器の保守については24時間365日の迅速な対応が求められる。そのためサーバの状態やディスク容量を毎日監視することとし、ハードウェア障害発生時には、保守拠点から迅速な来院を求めるものである。また、サーバ以外の機器に関しても、初期費用に5年間分の保守を計上すること。

今回パッケージ標準機能にての導入を前提とする理由として、稼働実績の積み上げからの障害低減と並び、機能アップ（年数回）により最新のクライアント環境（OSなど）をサポートしながら常に成長し続けるシステムを目指す。

診療報酬改定、元号対応、税率改定については、ソフトウェアの改修費も含め保守費用内で行うものとする。

将来的に新OSが発表された場合、既存システムが新OSに随時対応する事で長期的に同一システムを使用できることが望ましい。過去の導入実績から新システムへの入替えが発生する事が想定される場合は、その費用も別途見積提示すること。

6. その他

- ・電源工事費は見積に含めなくて良いものとする。
- ・既存及び病院調達の部門システム及び機器側の費用も含むものとする。
- ・既存医事会計システムベンダは患者情報(患者基本・保険・病名・入退院歴・最終来院日)のデータ抜出費用を別途、紳士的な価格で見積提出すること。
- ・データベースの構造は病院に公開すること（秘密保持契約など必要な措置は講じる）。
- ・各種管理帳票用のデータ出力が行えるツール（DWHやBIツールなど）を提供すること。
- ・保守費用については一式書きではなく、システム単位で月額または年額費用を記載すること。
- ・クラウド型を提案する場合は、院内にサーバを設置することを想定した項目については、要件を満たさなくてもよいものとする。
- ・別途、東京総合医療ネットワークに参加するために必要な地域医療連携ICTシステムを導入・構築する際の見積を提示すること。

7. 問い合わせ先

ご不明な点は下記までご連絡ください。

医療法人社団 桐光会 調布病院 事務次長 大熊 紀生 まで

E-mail : jimujichou@tokokai.or.jp

※お問い合わせは電話やFaxでは受付しておりません。E-mailにてお願い致します。

以上